

社会福祉法人 東京有隣会

有隣

YURIN

2025.5

(令和7年)

創立100周年

2025 年現在



2024 年新棟開設
有隣病院
第2有隣ホーム

1940 年代



松戸市より移転当時の
有隣療護院と診療所
(有隣病院)



有隣ホーム

「100周年を迎えて」



有隣病院

院長 藤田宜是

皆さんこんにちは。

東京有隣会は今年で100周年を迎えることが出来ました。これも地域の皆様のご理解、ご協力を頂いた賜物と、ここに感謝申し上げます。

さて、この大きな区切りに、病院と第2ホームの新築移転がいよいよ完了いたします。現在、病院の玄関や駐車場を含めた外構工事を進めておりまして、9月には完成の予定です。当院は急性期病院ではありませんが、住み慣れた我家に戻る準備段階の施設として、回復期リハビリテーション病棟・一般病棟・療養病棟を備えております。地域の急性期病院（関東中央病院等）や、近隣の家庭医の先生方と連携を深めながら、皆様の身体機能の維持・向上を図り、社会復帰や在宅療養への橋渡し機能を発揮したいと考えて居ります。

今後とも、皆さまの健康寿命の増進に役立つことを心掛け、1年1年積み重ねてまいります。併せて、この大きな区切りに際し、多くの先人に思いを寄せながら、東京有隣会職員一同、次の100年に向けて努力してまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

東京有隣会

令和6年度当法人に就職された方の感想をご紹介します。

臨床を1年経験して

入職後、実際のリハビリ業務に携わり学生時代では経験できなかった臨床の現場や業務を行い多くの事を学びました。始めは慣れない業務に悩みや疑問が生じたこともありましたがチームの先輩方にサポートして頂き、困難も乗り越え成長できた一年間でした。また、担当患者様の入院から退院まで一貫して介入を行うことで、歩行困難な方が歩けるようになり在宅復帰をサポートすることができやりがいを感じる事ができました。

リハビリテーション室 原 六花子 / 理学療法士

有隣ホームに入社して

有隣ホームは病院と隣接している事と看護師が多い事から、急な医療的処置が必要な方や体調不良等の方々へ早急に対応できるところが、働く上で安心安全な環境だと感じました。そして何ととっても納涼祭や節分豆まきなど、シーズンごとのアクティビティを開催しており、介護度が高くてでもできるだけ参加いただけるよう工夫しているなと感じました。ご利用者様の楽しそうな笑顔を見るとこちらも嬉しくなりました。これからも人生の最終章を、穏やかで楽しく過ごしていただけるよう努めていきたいと思っています。

有隣ホーム2F北 川崎 美和 / 介護職

看護師として1年間働いた経験を通じて

看護師として1年間働いた経験を通じて、患者さんの立場に立ったケアの重要性を深く実感しました。臨床現場では、技術的な知識だけでなくコミュニケーション能力や柔軟な対応力が求められることを学びました。患者さんやその家族との信頼関係を築くことが治療の効果を高める要素となることを強く感じました。チーム医療の一員として、多職種との協力が重要であると実感し日々の仕事における自己成長と責任感を強く感じています。

回復期リハビリテーション病棟 富山 詩織 / 看護職

丁寧な指導に支えられて歩む日々

前職で培った経験を活かしながら、特養に入職して半年が経ちました。この職場では利用者様に寄り添ったケアの重要性を再認識しています。また、周りの職員が丁寧に指導してくれるおかげで、新しい環境にも安心して取り組んでいます。感謝の気持ちを忘れず、チームとして連携しながら自分自身の成長を目指していきたいと思っています。

第2有隣ホーム 野澤 篤 / 介護職

寒くなったり、暖くなったりの日々が続き
待ちきれずに私たちは春を作っていました。
やっと暖くなり、近所の宝性寺へお花見に
行きました。

「春」が来た！



有隣ホーム



サクラはまだか？



藤の花も待ち遠しい！





第2有隣ホーム

皆様の会話が弾みます

春の訪れとともに当ホームではひな祭りや節分の行事を皆さままでお楽しみいただきました。日差しが柔らかい季節になり、新しい環境にも少しずつ慣れられ、入居者様同士の会話が弾む様子を微笑ましく感じております。

心の安らぐ交流会

桜が満開の季節となり、施設内でもその美しい景色を楽しむことができます。桜をご覧になった入居者様からは感銘の聲が聞かれ、この季節の散歩は皆様にとって思い深く楽しい時間となっていることと存じます。これからも季節の彩りと温かい交流に満ちた毎日を大切に、心安らぐ空間づくりに努めて参ります。



有隣ケアセンター

お花見会で笑顔満開

ケアセンターでは四月に「お花見」の行事を開催しました。

デイサービスでは通所中の外出に制約があるため、お花見を室内で行いました。フロアに飾り付けた桜飾りの下、職員による「金色夜叉」の寸劇や、特別なお飲み物としてノンアルコールビールなどで乾杯し、宴会の気分を味わっていただきました。他にもおやつづくりや折り紙教室など、毎月様々な行事を用意してお待ちしております。



有隣病院

船橋防災体験ラリーに参加しました

三月八日(土)船橋防災体験ラリーに参加しました。今年は例年と場所が変わり、東京有隣会新棟の駐車場で「車いす体験」を第2有隣ホームと共同して催しました。雪が散らつく寒空の中、多くの地域の方に車いすで段差などを体験して頂くことができました。

避難訓練実施と消火訓練

三月二十六日に新病棟に移転後初めての夜間に火災が発生した想定で避難訓練を実施しました。

夜間、職員が少ない中での初期消火、通報、避難誘導の仕方を再確認しながら訓練を実施しました。また、四月二日と十一日には、新入職員を対象とした、消火器の取扱い訓練と屋内散水栓の取扱い訓練をしました。



健康
コラム



新生活が始まりました

春、新生活が始まり環境の変化や、寒暖差による疲れなどで、体調を崩しやすい時期です。そんな時こそ食事ですっかり栄養を取って体調を崩さないように予防しましょう。

食品は主に大きく3色(赤・黄・緑)に分けられます。赤は主に血や肉の素になる食品(肉や魚卵大豆製品乳製品など)。緑は主に体の調子を整える素になる食品(野菜や海藻果物など)。黄色は主にエネルギーの素になる食品(ご飯やパン芋類油砂糖など炭水化物や油類)。これらの3色を組み合わせて食べることが大切です。

そして注目するのが、旬の食材です。旬とはその食材を美味しく食べられる時期のこと。旬の時期は豊富に含まれる栄養素を美味しく堪能できるというメリットがあります。

春の旬の代表的な野菜は、グリーンアスパラガス、菜の花、たけのこ、春キャベツなど。魚はあさり、鰯などです。

グリーンアスパラガスにはアスパラギン酸が多く含まれ、疲労物質である乳酸をエネルギーに変え、神経や筋肉の疲れをとる効果があります。またグリーンアスパラガスの穂先には、毛細血管を丈夫にするルチンが含まれており、血行を促進し、冷え性予防に役立ちます。ビタミンCと一緒に摂ることで、ルチンの吸収を助けてくれます。

菜の花はビタミンCが豊富に含まれています。しかしビタミンCは水溶性の為、水にさらしすぎたり、茹でたりすると流れ出てしまうので、できるだけ手早く調理しましょう。

あさはりは高タンパク低カロリーで、ビタミンB₂が豊富です。大きくて模様や色ははっきりしているもの、貝殻の口がしっかり閉じているものが良品です。

それぞれの野菜の旬を知って普段の食事に取り入れ、美味しく健康的な食生活にお役立てください。

栄養科

